



ConMas Manager

カスタムメニュー 操作説明書

Rev.1.0.0
2015.05.20
Rev.1.0.1
2015.06.10
Rev.1.0.2
2015.06.16

改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2015-05-20	V5.0	－	初版を発行しました。
2015-06-10	V5.0	P15,P18	カスタムメニューで使用できる画像ファイルフォーマットを記載
2015-06-16	V5.0	P37	帳票保存時にクラスター入力値とシステムキーを連携させる説明を記載

Managerでのカスタムメニューの管理権限設定

ConMas Manager カスタムメニュー機能を使用するには、まずConMas Managerでカスタムメニュー管理権限を設定します。

※iPadの入力時の権限設定ではなく、Managerでのカスタムメニューの管理権限です。

システム管理→グループ管理の“カスタムメニュー”において、各ユーザーグループに対して、カスタムメニュー管理の権限設定を行います。

- 参照 : カスタムメニュー管理機能にて、登録されたカスタムメニューを閲覧出来る権限です。
これを有効にしないとManagerメニューに“カスタムメニュー”が表示されません。
- メンテナンス(登録・編集) : カスタムメニュー管理機能にて、新規カスタムメニューの登録や編集、削除が出来る権限です。

グループ一覧

グループID グループ名称

初 ◀◀ 2 / 2 ▶▶

Manager権限																				
帳票定義			入力帳票			データ出力	自動帳票作成	ラベル管理				図書管理			スケジュール			カスタムメニュー	カスタムメニュー	
参照	編集	削除	参照	編集	削除			参照	作成	編集	削除	参照	登録	編集	削除	参照	作成	編集	削除	参照
<input type="checkbox"/>																				
<input type="checkbox"/>																				

権限を設定する。

カスタムメニュー管理権限

カスタムメニュー

メンテナンス

ConMas Manager

ログイン中:

帳票定義 入力帳票 データ出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール カスタムマスター システム管理

ConMas Manager

ログイン中: ユーザー01 [ログアウト] Version:5.0.545

帳票定義 入力帳票 データ出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール カスタムマスター **カスタムメニュー** システム管理

参照権限をつける
とメニューに“カスタムメニュー”
が表示されます。

カスタムメニュー

- ユーザーが設定可能な業務メニューです。6つの業務を配置できます。
- カスタムメニューは、ユーザーがManagerで設定します。設定されたカスタムメニューは、iPad,iPhoneへ自動で配信されます。
- 従来のメニュー（ノーマルメニュー）とは、メニュー変更アイコンをタップして切り替えます。

ノーマルメニュー（従来のメニュー画面）



カスタムメニュー



カスタムメニューの機能

- i-Reporter 上に表示するカスタムメニューパネルをユーザーが自由に設定できます。
- i-Reporter 上のカスタムメニューパネルに配置されたカスタムメニューボタンに下記の動作を割り付けることができます。

1. 帳票定義を呼び出し、新規帳票を起票（帳票入力画面の表示）
2. 入力前帳票の起動（帳票入力画面の表示）
3. 帳票起動時に、読み込んだデバイスコードの値を分解し、分解先クラスターに自動入力



カスタムメニュー 白紙の帳票起動

- メニューパネルに配置されたメニューボタンより、指定した帳票定義から新規帳票を起動することができます。

The image shows a mobile application interface for 'i-Reporter'. On the left, a 'カスタムメニューパネル' (Custom Menu Panel) displays several menu buttons. One button, '[sample001]起票のみ', is highlighted with a dashed green border and a callout bubble labeled '① タップ' (Tap). An orange arrow points from this button to a 'カスタムメニューボタン' (Custom Menu Button) on the right. This button is linked to a '② 帳票起動' (Start Receipt) callout. The right side of the image shows a receipt form with fields for '1. テキスト', '2. 数値', '3. 折り返しテキスト', and '4. 数値しきい値 10~100'. Below the form is a 'カスタムマスター' (Custom Master) section with a dropdown menu and a checkbox.

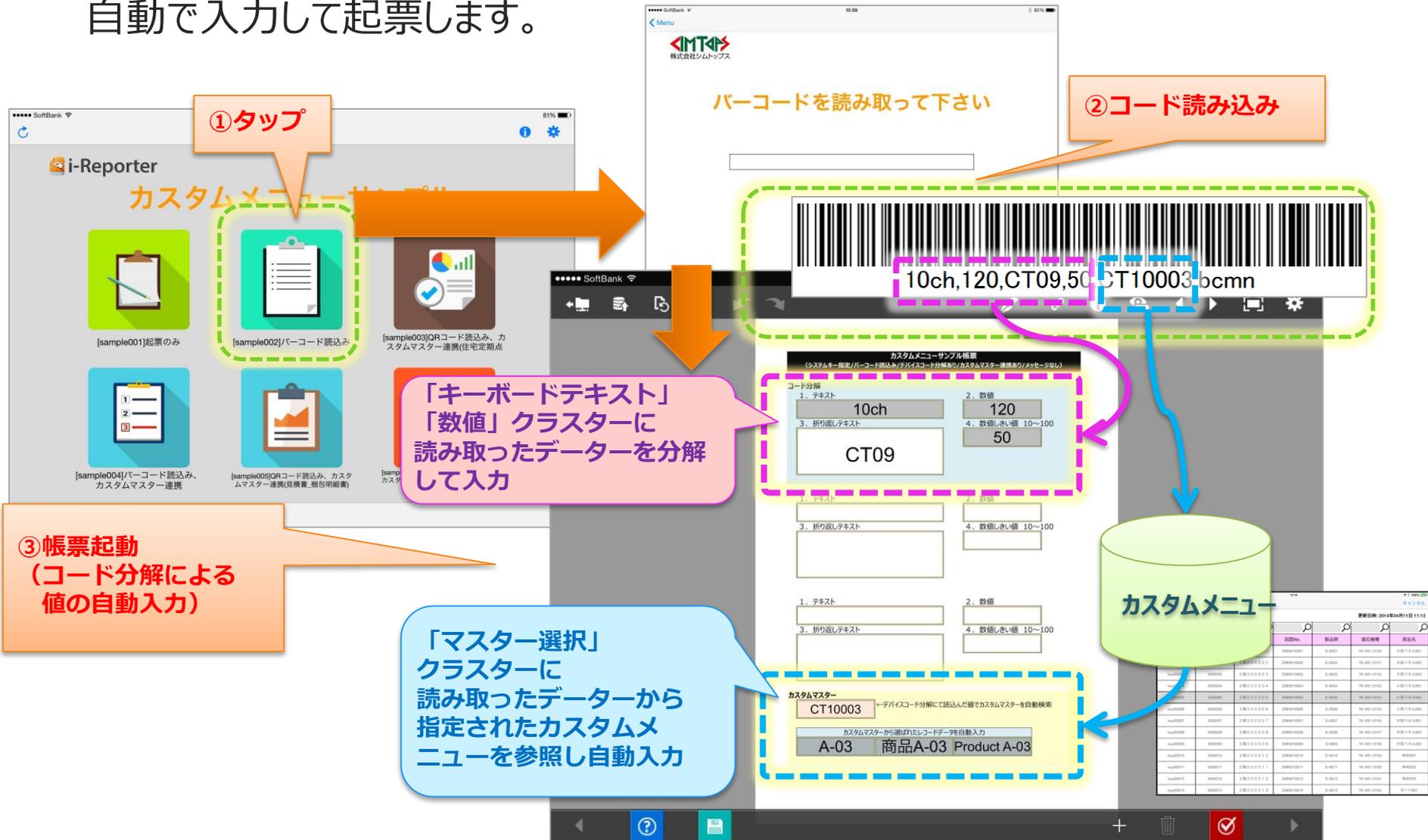
① タップ

② 帳票起動

※指定された帳票定義IDがManagerで更新(リビジョンアップ)されている場合には、その時の最新の帳票定義IDを自動で取得します。

カスタムメニュー データー入力して帳票起動

- デバイスを使用して読み取ったデバイスコードを分解し、帳票定義、入力帳票に値を自動で入力して起票します。



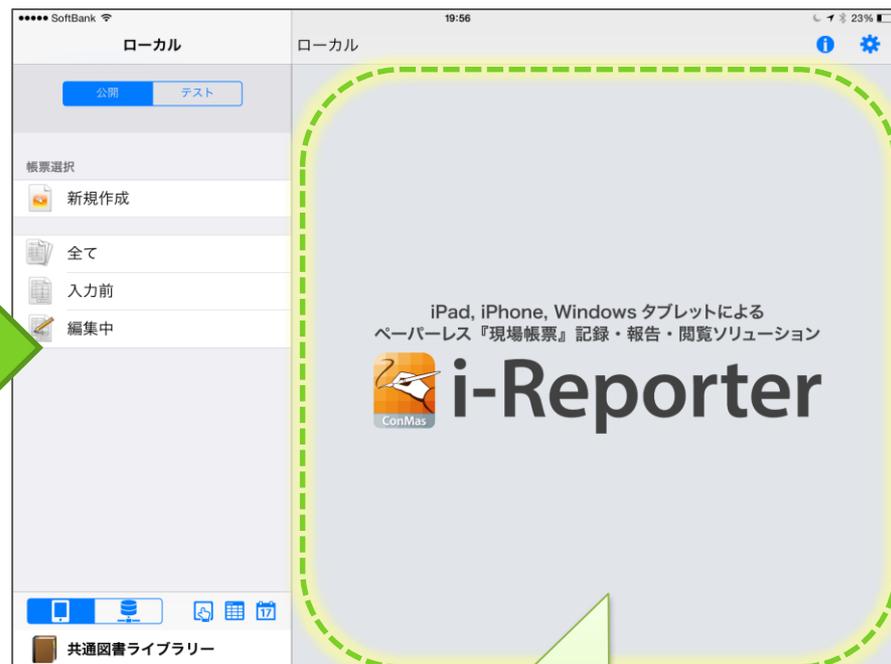
ノーマルメニューのカスタマイズ

- i-Reporter 上のノーマルメニューをカスタマイズできます。
(ノーマルメニュー：従来の i-Reporter 起動時に表示されていた画面のこと)

ノーマルメニュー カスタマイズなし



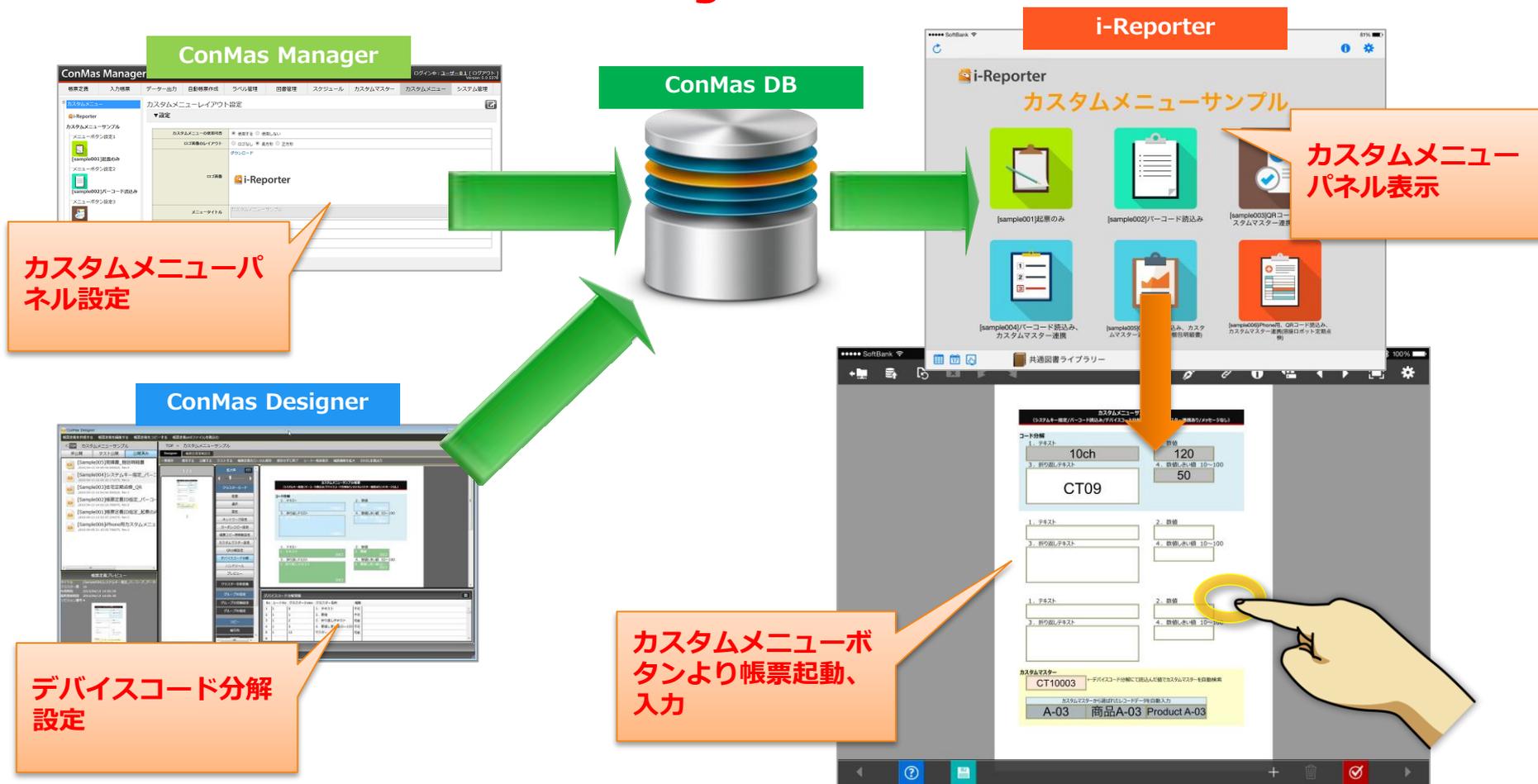
ノーマルメニュー カスタマイズあり



任意の画像の設定も可能です。

カスタムメニューの設定

- カスタムメニューは、ConMas Manager で作成します。
- iPad,iPhoneアプリは、その設定情報をダウンロードして使用します。
- **デバイスが読み取ったコードを帳票の各クラスターにどのように分解するかの設定は、ConMas Designer で帳票定義に設定します。**



カスタムメニューの設定 全体の流れ

Manager、Designer、iPad・iPhone アプリでのそれぞれの役割と設定・操作は大きく以下の様な流れで行います。ここでは「**①Managerでカスタムメニュー情報の登録・編集**」について説明します。

① Managerで
カスタムメニュー
情報の登録・編集

ConMas Manager



- カスタムメニューパネルの設定
- カスタムメニューボタンの動作設定
- 帳票定義、帳票のシステムキーの設定
- ノーマルメニューの設定

② Designerでデバイスの
読取コードの分解、
各クラスターへの入力を設定

ConMas Designer



- 帳票定義内クラスターへのカスタムメニュー設定
- カスタムメニュー設定したクラスターの親子関係の紐付け

③ カスタムメニュー
を使用した帳票起動

iPad, iPhone アプリ



- カスタムメニューボタンの動作設定に応じた帳票起動
- カスタムメニューのダウンロードと保存
- カスタムメニュー最新情報の更新及び自動削除

カスタムメニューパネルの 設定

カスタムメニューパネル設定の流れ



1. カスタムメニューパネルのレイアウト設定
ConMas Manager メニュー「カスタムメニュー」より
カスタムメニューパネルのレイアウト設定を行います。



2. カスタムメニューボタンの設定
ConMas Manager メニュー「カスタムメニュー」より
カスタムメニューボタンの設定を行います。

カスタムメニューパネルの レイアウト設定

カスタムメニューパネルのレイアウト設定

カスタムメニューパネルのレイアウト設定は、ConMas Manager で行います。

- カスタムメニューボタンを表示する画面のことをカスタムメニューパネルと呼びます。
- カスタムメニューパネルのレイアウト設定では、下記を設定することができます。

1. カスタムメニューの使用可否
2. カスタムメニューパネルのロゴ画像レイアウト
3. カスタムメニューパネルのロゴ画像
4. カスタムメニューパネルのメニュータイトル
5. カスタムメニューパネルのメニュータイトルのフォント

The screenshot shows the ConMas Manager interface. The top navigation bar includes 'カスタムメニュー' (Custom Menu) and 'システム管理' (System Management). The main content area is titled 'カスタムメニューレイアウト設定' (Custom Menu Layout Settings). On the left, there is a sidebar with 'カスタムメニュー' selected. The main settings area includes a '設定' (Settings) section with the following options:

- カスタムメニューの使用可否: 使用する 使用しない
- ロゴ画像のレイアウト: ログなし 長方形 正方形
- メニュータイトル: カスタムメニューサンプル
- 文字サイズ: 50
- 文字太さ: 通常 ボールド
- 文字色: Orange

Three callouts highlight specific actions:

- ① 「カスタムメニュー」メニューをクリック (Click the 'Custom Menu' menu item in the top navigation bar).
- ② 「カスタムメニュー」をクリック (Click the 'Custom Menu' item in the left sidebar).
- ③ 「編集」ボタンをクリック (Click the 'Edit' button, represented by a pencil icon, in the top right corner of the settings area).

カスタムメニューパネルのレイアウト設定

カスタムメニューレイアウト設定

登録

キャンセル

▼設定

カスタムメニューの使用

使用する 使用しない

ロゴ画像のレイアウト

ロゴなし 長方形 正方形

参照...

ロゴ画像

 i-Reporter

タイトル

カスタムメニューサンプル

文字サイズ

50

文字太さ

通常 ボールド

文字色

Orange

登録

キャンセル

カスタムメニューパネル上中央にタイトルを設定することができます。

設定完了後、「登録」ボタンをクリックします。

カスタムメニューの使用可否を選択します。「使用しない」を選択すると、i-Reporter 上にカスタムメニューは表示されません。

カスタムメニューパネル左上にロゴ画像を設定することができます。

取り込み可能な画像フォーマットは bitmap(bmp),png,gif,jpeg となります。
※Managerバージョン5.0.5497より上記ファイル以外は取り込めなくなりました。

i-Reporter 画面



カスタムメニューボタンの 設定

カスタムメニューボタンの設定

カスタムメニューボタンの設定は、ConMas Manager で行います。

- カスタムメニューボタンは、6個まで設定が可能です。

The screenshot shows the ConMas Manager interface with the 'Custom Menu' tab selected. The left sidebar lists 'Custom Menu Buttons' 1 through 6. The main area is titled 'Menu Button Settings' and is divided into 'Display Settings' and 'Action Settings'. Three callouts provide instructions:

- ① 「カスタムメニュー」メニューをクリック (Click the 'Custom Menu' menu)
- ② 設定したい「カスタムメニューボタン」をクリックします。 (Click the 'Custom Menu Button' you want to configure.)
- ③ 「編集」ボタンをクリック (Click the 'Edit' button)

Display Settings (▼表示設定)

表示タイプ	<input type="radio"/> 設定なし <input checked="" type="radio"/> 画像とテキスト <input type="radio"/> テキストのみ
ダウンロード	
画像	
名称	[sample001]起票のみ
サイズ	16

Action Settings (▼動作設定)

定義を開く OR 帳票を開く	<input checked="" type="radio"/> 帳票定義 <input type="radio"/> 入力帳票
探索ルール	<input type="radio"/> デバイスを使用して探す <input checked="" type="radio"/> 帳票定義ID指定
定義ID	: 2263
定義名称	: [Sample001]帳票定義ID指定_起票のみ
使用デバイス	: <input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> QR(内蔵カメラ) <input type="radio"/> 外付けBarcodeReader <input type="radio"/> iBeacon <input type="radio"/> NFC

取得されるデバイスコードは、使用する帳票定義へデバイスコードを分解して複数の項目へ入力することに使用可能です。 ※帳票定義へのデバイスコード分解は、Designerで設定してください。

1. カスタムメニューボタンの表示設定

カスタムメニューボタンの表示の設定します。

メニューボタン設定

▼表示設定

表示タイプ	<input type="radio"/> 設定なし <input checked="" type="radio"/> 画像とテキスト <input type="radio"/> テキストのみ
画像	
名称	<input type="text" value="[sample001]起票のみ"/>
文字サイズ	<input type="text" value="16"/>
文字太さ	<input checked="" type="radio"/> 通常 <input type="radio"/> ボールド
文字色	<input type="text" value="Black"/>
表示順	<input type="text" value="0"/>

▼動作設定

定義を開く

探索

表示タイプ

設定なし：カスタムメニューボタンを表示しません。
画像とテキスト：カスタムメニューボタンに画像とテキストを設定します。
テキストのみ：カスタムメニューボタンにテキストのみ設定します。

表示タイプを「画像とテキスト」を選択した場合、画像を設定します。

取り込み可能な画像フォーマットは
bitmap(bmp),png,gif,jpeg
となります。
※Managerバージョン5.0.5497より
上記ファイル以外は取り込めなくなりました。

i-Reporter 画面



カスタムメニューボタンの下のテキストを設定します。

2. カスタムメニューボタンの動作設定

カスタムメニューボタンに割り付ける動作を設定します。

メニューボタン設定

▼表示設定

表示タイプ	<input type="radio"/> 設定なし <input checked="" type="radio"/> 画像とテキスト <input type="radio"/> テキストのみ
画像	<input type="button" value="参照..."/> 
名称	[sample001] 起票のみ
文字サイズ	16
文字太さ	<input checked="" type="radio"/> 通常 <input type="radio"/> ホールド
文字色	Black
表示順	0

▼動作設定

定義を開く OR 帳票を開く	<input checked="" type="radio"/> 帳票定義 <input type="radio"/> 入力帳票
探索ルール	<input type="radio"/> デバイスを使用して探す <input checked="" type="radio"/> 帳票定義ID指定 定義ID : 2263 <input type="button" value="検索"/> 使用デバイス : <input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> QR(内蔵カメラ) <input type="radio"/> 外付けBarcodeReader <input type="radio"/> iBeacon <input type="radio"/> NFC

カスタムメニューボタンの 動作設定

1. 帳票定義を開く OR 帳票を開く

カスタムメニューボタンより、帳票定義を呼び出すか、入力帳票を呼び出すかを設定します。

- 「帳票定義」を選択した場合は、帳票定義より新規帳票を作成して起動します。
- 「入力帳票」を選択した場合は、入力前帳票を起動します。

▼動作設定

定義を開く OR 帳票を開く	<input checked="" type="radio"/> 帳票定義 <input type="radio"/> 入力帳票
探索ルール	<input type="radio"/> デバイスを使用して探す <input checked="" type="radio"/> 帳票定義ID指定
	定義ID : <input type="text" value="2263"/> <input type="button" value="検索"/>
	使用デバイス : <input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> QR(内蔵カメラ) <input type="radio"/> 外付けBarcodeReader <input type="radio"/> iBeacon <input type="radio"/> NFC

2. 探索ルール概要

「探索ルール」では、呼び出す帳票定義または入力帳票の探索方法（帳票定義または入力帳票の指定方法）を設定します。

◆ 「デバイスを使用して探す」方法

- デバイスを使用して、指定する帳票定義のシステムキーが設定されているデバイスコードを読みとり、システムキーから帳票定義、入力帳票を探す方法です。
- 使用できるデバイスは、「QR（内蔵カメラ）」、「外付けBarcodeReader」、「NFC」です。
- 読み取ったデバイスコードを分解する方法（カンマ、タブ、バイト）と Encoding を指定します。
- 分解したデバイスコードの値と、呼び出す帳票定義に設定されているシステムキーとの比較位置を指定します。
- 分解したデバイスコードの値を起動した新規帳票に自動入力することもできます。
（帳票定義にデバイスコード分解設定が必要です。ConMas Designer で設定します。）

◆ 「帳票定義のIDを指定する」場合

- 帳票定義IDから帳票定義を探す方法です。
- デバイスコード分解を使用して、分解したデバイスコードの値を起動した新規帳票に自動入力する場合は、「使用デバイス」を指定します。
（帳票定義にデバイスコード分解設定が必要です。ConMas Designer で設定します。）

- ※ 入力帳票の探索方法は、「デバイスを使用して探す」方法のみです。
- ※ 分解したデバイスコードの値を自動入力するためには、ConMas Designer による帳票定義への設定が必要です。
詳細は、「デバイスコード分解」の章を参照ください。
- ※ デバイスコードは、お客様でご用意ください。（ConMas i-Reporter システムでは作成できません。）
- ※ QRコードに設定された「半角かな」は正しく読み取ることができません。

2-1. デバイスを使用して探す – 使用デバイス

デバイスコードを読みとるデバイスを指定します。

- ◆ QR (内蔵カメラ)
 - i-Reporter インストール端末の内蔵カメラを使用してQRコードを読み取る場合に選択します。
- ◆ 外付けBarcodeReader
 - 外付けのバーコードリーダーや 1D/2D コードリーダーを使用してバーコードを読み取る場合に選択します。
- ◆ iBeacon
 - iBeacon に設定されたコード (数字) を読み取る場合に選択します。
- ◆ NFC
 - NFC を使用して、NFC タグを読み取る場合に選択します。

探索ルール	<input checked="" type="radio"/> デバイスを使用して探す <input type="radio"/> 帳票定義ID指定
	使用デバイス : <input checked="" type="radio"/> QR(内蔵カメラ) <input type="radio"/> 外付けBarcodeReader <input type="radio"/> iBeacon <input type="radio"/> NFC
	取得されるデバイスコードは、下記システムキー1から5による帳票定義の検索に使用します。また、使用する帳票定義へデバイスコードを分解して複数の項目へ入力することにも使用可能です。 ※帳票定義へのデバイスコード分解は、Designerで設定してください。
	デバイスコード分解タイプ : <input checked="" type="radio"/> カンマ <input type="radio"/> タブ <input type="radio"/> バイト
	Encoding : <input checked="" type="radio"/> SJIS <input type="radio"/> UTF8
	■システムキー1から5に割り当てるデータ番号 システムキーを使用して帳票定義を検索します。

システムキー1	データ番号 : <input type="text"/>
システムキー2	データ番号 : <input type="text"/>
システムキー3	データ番号 : <input type="text"/>
システムキー4	データ番号 : <input type="text"/>
システムキー5	データ番号 : <input type="text"/>

2-2. デバイスを使用して探す – UUID、iBeacon反応距離

デバイスコードを読みとるデバイスが「iBeacon」の場合、使用する iBeacon の UUID と iBeacon の反応距離を指定します。

使用デバイス : QR(内蔵カメラ) 外付けBarcodeReader iBeacon NFC

取得されるデバイスコードは、下記システムキー1から5による帳票の検索に使用します。また、使用する帳票定義へデバイスコードを分解して複数の項目へ入力することにも使用可能です。※帳票へのデバイスコード分解は、Designerで設定してください。

UUID : A1A22AA2-BBBB-33C3-D444-E0E0E00000E0

iBeacon反応距離 : immediate near far

使用する iBeacon の UUID を設定します。

使用する iBeacon の 反応距離を設定します。

2-3. デバイスを使用して探す – NFCデバイスコード利用領域

デバイスコードを読みとるデバイスが「NFC」の場合、NFCタグに設定した値の利用領域を指定します。

使用デバイス : QR(内蔵カメラ) 外付けBarcodeReader iBeacon NFC

取得されるデバイスコードは、下記システムキー1から5による帳票定義の検索に使用します。また、使用する帳票定義へデバイスコードを分解して複数の項目へ入力することにも使用可能です。※帳票定義へのデバイスコード分解は、Designerで設定してください。

NFCデバイスコード利用領域 ユーザー領域 SID

読み込む NFC タグに設定した値のうち、ユーザー領域の値を読み込むか、SID の値を読み込むかを指定します。

2-4. デバイスを使用して探す – デバイスコード分解タイプ

読み取ったデバイスコードを分解する方法を指定します。

- ◆ カンマ
 - 読み取ったデバイスコードを「カンマ区切り」で分解します。
- ◆ タブ
 - 読み取ったデバイスコードを「タブ区切り」で分解します。
- ◆ バイト
 - 読み取ったデバイスコードを「バイト区切り」で分解します。

社員情報QR



0125,近藤益男,営業部

0125 近藤益男 営業部

0125近藤益男営業部

開始位置 : 0
バイト数 : 4

開始位置 : 4
バイト数 : 8

開始位置 : 12
バイト数 : 6

デバイスを使用して探す 帳票定義ID指定

使用デバイス : QR(内蔵カメラ) 外付けBarcodeReader iBeacon

取得されるデバイスコードは、下記システムキー1から5による帳票定義の検索に使用します。また、使用する帳票定義へデバイスコードを分解して複数の項目へ入力することにも使用可能です。※帳票定義へのデバイスコード分解は、Designerで設定してください。

デバイスコード分解タイプ : カンマ タブ バイト

Encoding : SJIS UTF8

探索ルール

■システムキー1から5に割り当てるデータ番号 システムキーを使用して帳票定義を検索します。

システムキー1	データ番号 : <input type="text"/>
システムキー2	データ番号 : <input type="text"/>
システムキー3	データ番号 : <input type="text"/>
システムキー4	データ番号 : <input type="text"/>
システムキー5	データ番号 : <input type="text"/>

2-5. デバイスを使用して探す – デバイスコードのEncoding

読み取ったデバイスコードのエンコーディングを指定します。

- ◆ SJIS
 - 読み取ったデバイスコードを「SJIS」でエンコーディングします。
- ◆ UTF8
 - 読み取ったデバイスコードを「UTF8」でエンコーディングします。

デバイスを使用して探す 帳票定義ID指定

使用デバイス : QR(内蔵カメラ) 外付けBarcodeReader iBeacon NFC

取得されるデバイスコードは、下記システムキー1から5による帳票定義の検索に使用します。また、使用する帳票定義へデバイスコードを分解して複数の項目へ入力することにも使用可能です。※帳票定義へのデバイスコード分解は、Designerで設定してください。

デバイスコード分解タイプ : カンマ タブ バイト

Encoding : SJIS UTF8

■システムキー1から5に割り当てるデータ番号 システムキーを使用して帳票定義を検索します。

システムキー1	データ番号 : <input type="text"/>
システムキー2	データ番号 : <input type="text"/>
システムキー3	データ番号 : <input type="text"/>
システムキー4	データ番号 : <input type="text"/>
システムキー5	データ番号 : <input type="text"/>

2-6. デバイスを使用して探す – デバイス画面の表示文字列設定

デバイスコードを読み取るデバイスが「外付けBarcodeReader」、「iBeacon」、「NFC」の場合、i-Reporter 上に表示されるデバイスコードを読み込み画面に文字列を表示することができます。

この文字列を設定します。

■ デバイス画面の表示文字列設定

名称	バーコードを読み取って下さい
文字サイズ	50
文字太さ	<input type="radio"/> 通常 <input checked="" type="radio"/> ボールド
文字色	Orange

i-Reporter 画面

i-Reporter 画面

タップ

The image shows a settings table for the 'Device Screen Display Text' in i-Reporter. The table has four rows: 'Name' (Barcode scanner), 'Text Size' (50), 'Text Weight' (Bold), and 'Text Color' (Orange). To the right, a screenshot of the i-Reporter app shows the barcode scanning screen with the text 'バーコードを読み取って下さい' displayed in orange bold font. An arrow points from the settings table to this screen. Another arrow points from a home screen icon to the same screen.

2-7. デバイスを使用して探す – システムキー指定

検索するシステムキーと、比較する値（デバイスコード分解した値）を指定します。

- システムは、デバイスコード分解した値と、帳票定義、入力帳票に設定されているシステムキーが一致する帳票定義、入力帳票を検索します。
 - 帳票定義、入力帳票に設定されているシステムキー1～システムキー5のうち、検索対象とするシステムキーの入力欄に、デバイスコード分解した値のうち、検索キーとする値を指定するための情報を入力します。
 - 検索キーとする値を指定するための情報は、「デバイスコード分解タイプ」によって異なります。
- ※ システムキーは、帳票定義、入力帳票に設定します。
詳細は、「システムキーの設定」の章を参照ください。

デバイスコード分解タイプ カンマ タブ バイト

カンマ区切り、タブ区切りで分解した値のうち、何番目の値を検索キーとするかを数値で入力します。

バイト区切りで分解した値のうち、検索キーとする値の開始バイト位置とバイト数を入力します。

■システムキー1から5に割り当てるデータ番号 システムキー1を使用して帳票定義を検索します	
システムキー1	データ番号: <input type="text"/>
システムキー2	データ番号: <input type="text"/>
システムキー3	データ番号: <input type="text"/>
システムキー4	データ番号: <input type="text"/>
システムキー5	データ番号: <input type="text"/>

■システムキー1から5に割り当てるバイト位置 システムキー1を使用して帳票定義を検索します		
システムキー1	開始バイト位置: <input type="text"/>	バイト数: <input type="text"/>
システムキー2	開始バイト位置: <input type="text"/>	バイト数: <input type="text"/>
システムキー3	開始バイト位置: <input type="text"/>	バイト数: <input type="text"/>
システムキー4	開始バイト位置: <input type="text"/>	バイト数: <input type="text"/>
システムキー5	開始バイト位置: <input type="text"/>	バイト数: <input type="text"/>

2-7. デバイスを使用して探す – システムキー指定（続き）

例) デバイスコード分解タイプ「カンマ」、「タブ」の場合

- 指定したい帳票定義に設定されているシステムキー、読み込むデバイスコードが下記の場合の設定の例を示します。

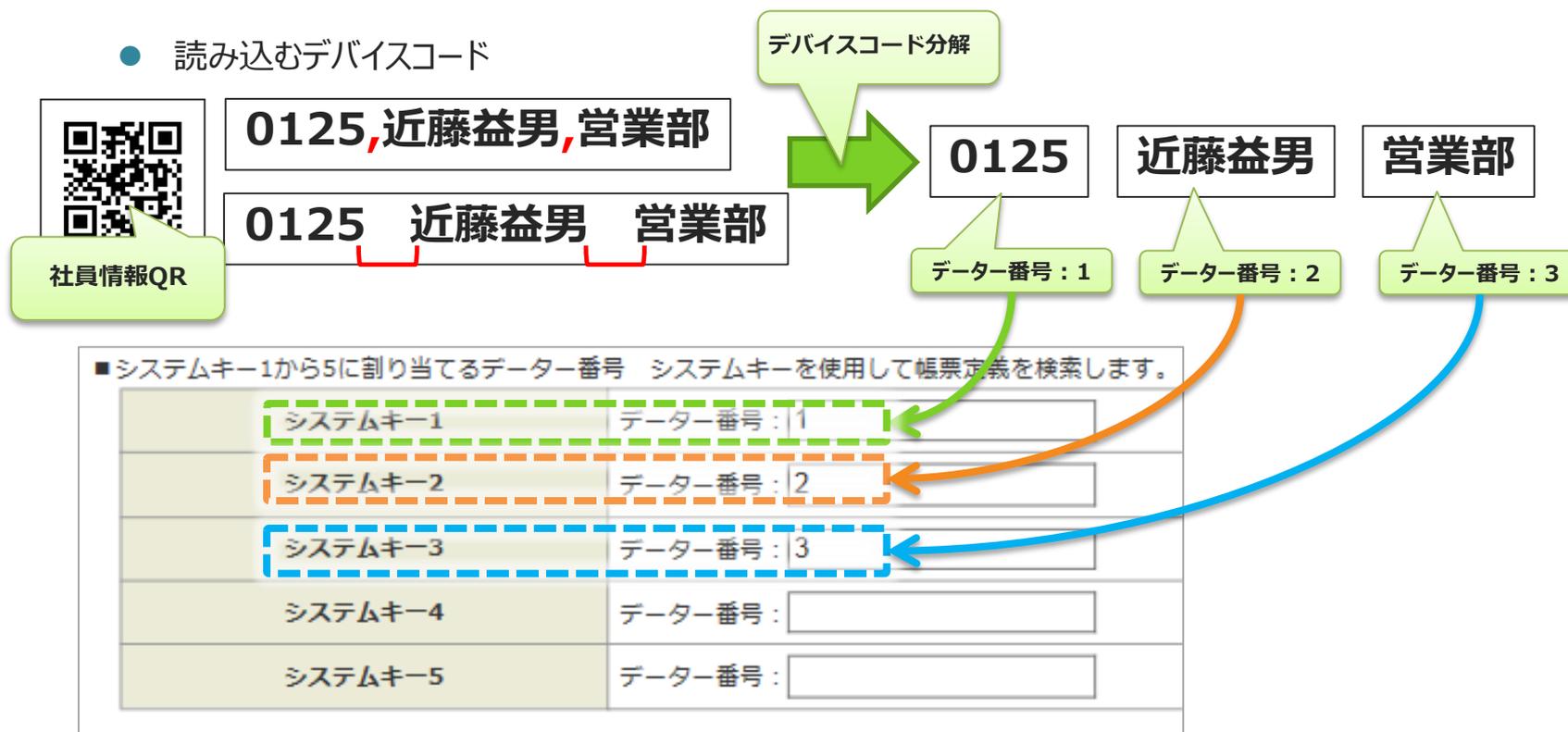
- 指定した帳票定義に設定されているシステムキー

システムキー1：0125

システムキー2：近藤益男

システムキー3：営業部

- 読み込むデバイスコード



2-7. デバイスを使用して探す – システムキー指定（続き）

例) デバイスコード分解タイプ「バイト」の場合

- 指定したい帳票定義に設定されているシステムキー、読み込むデバイスコードが下記の場合の設定の例を示します。

- 指定した帳票定義に設定されているシステムキー

システムキー1 : 0125
システムキー2 : 近藤益男
システムキー3 : 営業部

- 読み込むデバイスコード



0125近藤益男営業部

デバイスコード分解



0125

近藤益男

営業部

開始位置 : 0
バイト数 : 4

開始位置 : 4
バイト数 : 8

開始位置 : 12
バイト数 : 6

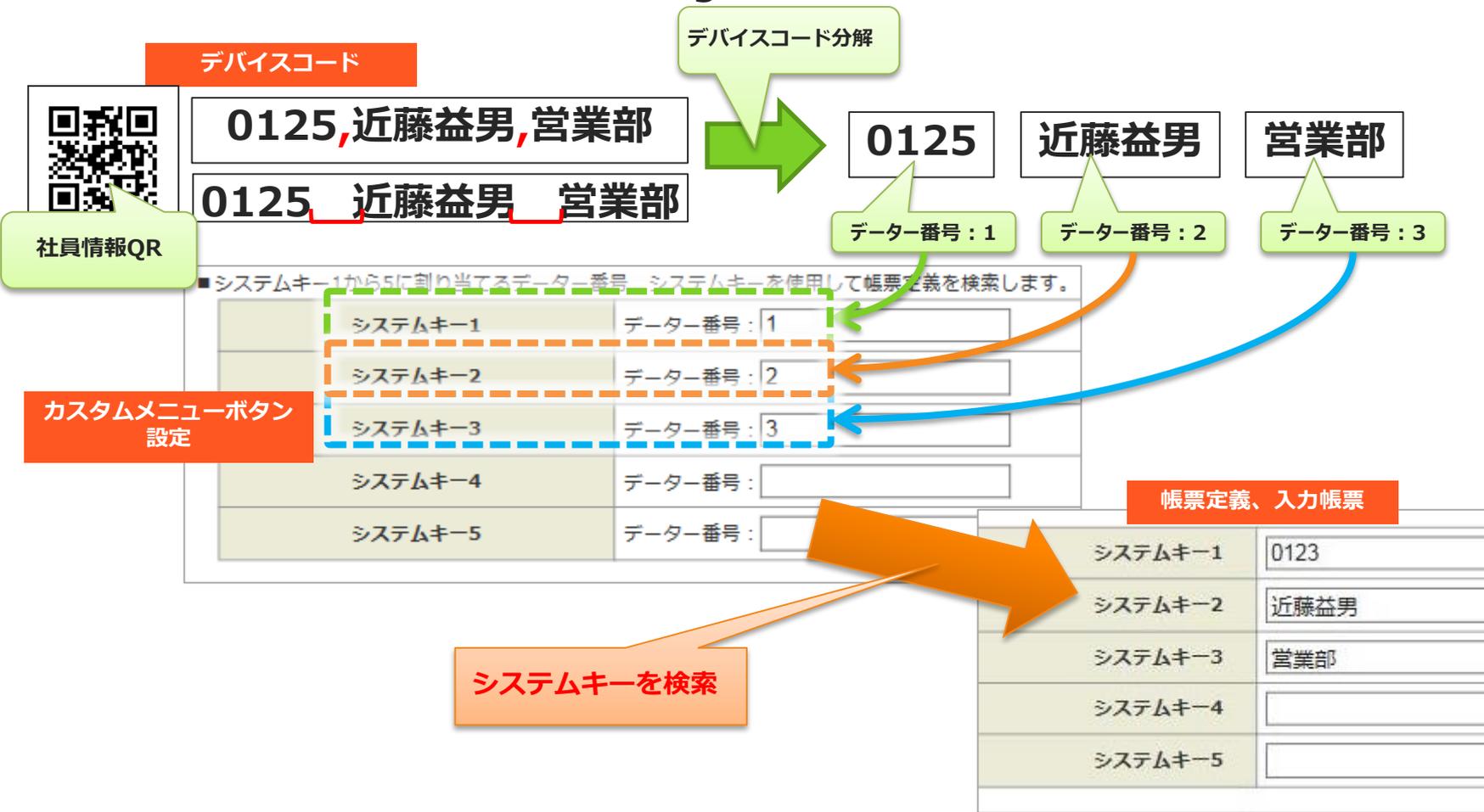
■ システムキー1から5に割り当てるバイト位置 システムキーを使用して帳票定義を検索します。

システムキー1	開始バイト位置 : 0	バイト数 : 4
システムキー2	開始バイト位置 : 4	バイト数 : 8
システムキー3	開始バイト位置 : 12	バイト数 : 6
システムキー4	開始バイト位置 : <input type="text"/>	バイト数 : <input type="text"/>
システムキー5	開始バイト位置 : <input type="text"/>	バイト数 : <input type="text"/>

帳票定義、帳票の システムキーの 設定

システムキーとは

- システムキーとは、カスタムメニュー機能で使用する帳票定義、入力帳票を検索するための検索キーのことです。
- システムキーは、ConMas Manager より帳票定義、入力帳票に設定します。



システムキーの設定

システムキーの設定は、ConMas Manager で行います。

- システムキーを設定したい帳票定義、入力帳票を選択し、設定します。

①「帳票定義」メニューをクリック

②システムキーを設定したい定義名称をクリック

①「入力帳票」メニューをクリック

②システムキーを設定したい帳票名称をクリック

ID	定義名称	元ID	RE
2269	[Sample003]住宅定期点検_QR	2262	
	[Sample004]システムキー指定_バーコード_データ		

ID	帳票名称	元ID	入力	入力完了	入力日時
3182	[Sample006]iPhone用カスタムメニューサンプル	3182	1	完了	2015/04/15 16:23
3181	[Sample006]iPhone用カスタムメニューサンプル カスタムメニューサンプル	3181		入力	2015/04/15
3180	[Sample003]住宅定期点検_QR カスタムメニューサンプル	3180			

システムキーの設定 (続き)

The screenshot shows the 'ConMas Manager' web application. The top navigation bar includes '帳票定義', '入力帳票', 'データ出力', '自動帳票作成', 'ラベル管理', '図番管理', 'スケジュール', and 'カスタムマスター'. The user is logged in as 'ユーザー01' (Version: 5.0.5378). The main content area displays the definition name: '[Sample004]システムキー指定_バーコード_データ分解_マスター連携'. A green arrow points from the '基本情報' tab in the left sidebar to the '公開' button. Another green arrow points from the '編集' button in the top right to a callout box. The main content area shows a 'コード分解' section with four items: 1. テキスト, 2. 数値, 3. 折り返しテキスト, and 4. 数値しきい値 10~100.

ConMas Manager

ログイン中: ユーザー01 [ログアウト]
Version: 5.0.5378

帳票定義 入力帳票 データ出力 自動帳票作成 ラベル管理 図番管理 スケジュール カスタムマスター

一覧へ戻る 定義名: [Sample004]システムキー指定_バーコード_データ分解_マスター連携

基本情報

公開

①「基本情報」をクリック

②「編集」ボタンをクリック

カスタムメニューサンプル帳票
(システムキー指定/バーコード読み込み/デバイスコード分解あり/カスタムマスター連携)

コード分解

1. テキスト

2. 数値

3. 折り返しテキスト

4. 数値しきい値 10~100

システムキーの設定 (続き)

帳票備考6	
帳票備考7	
帳票備考8	
帳票備考9	
帳票備考10	

システムキー1	0123
システムキー2	近藤益男
システムキー3	営業部
システムキー4	
システムキー5	

登録端末	256
登録者	ユーザ-01
登録日時	2015/04/14 17:57
更新端末	256
更新者	
更新日時	

①「システムキー」を入力します

②「登録」ボタンをクリックします

登録 キャンセル

クラスター入力値とシステムキーを連携させる

帳票保存時に、クラスター入力値をシステムキーにコピーするように設定することが可能です。

1. Designerで帳票定義に、連携させるクラスターとシステムキーの設定を行う



設定はDesignerで行います

2. サーバーへの帳票保存時、クラスター入力値がシステムキーにコピーされます。

※この設定でクラスター入力値がコピーされるのは、入力帳票のシステムキーです。
帳票定義のシステムキーにはコピーされません。

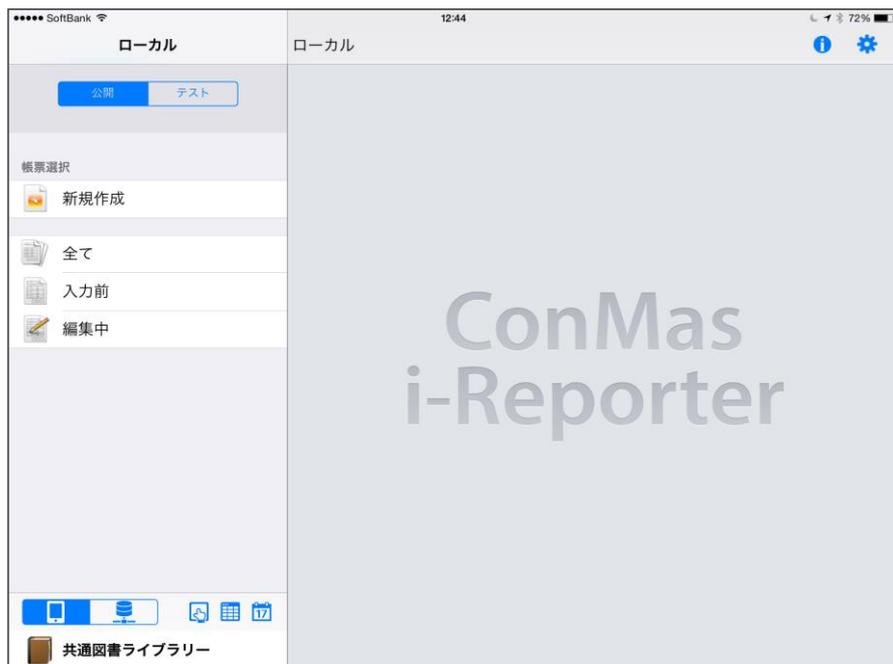
- クラスター入力値との連携の詳細は、下記URLのドキュメントをご参照ください。
「クラスター入力値と帳票備考、システムキーの連携」
<https://cimtops-support.com/i-Reporter/images/docs/ja/designer/クラスター入力値と帳票備考、システムキーの連携.pdf>

ノーマルメニューの設定

ノーマルメニューとは

- Ver.5.0より機能追加になった画面「カスタムメニュー」に対し、従来の i-Reporter 起動時に表示されていた画面を「ノーマルメニュー」と呼びます。

ノーマルメニュー



カスタムメニュー



ノーマルメニューの設定

- ノーマルメニューに任意のテキストや画像を設定することができます。
- ノーマルメニューのカスタマイズは、ConMas Manager で設定します。

ConMas Manager

ログイン中: ユーザー01 [ログアウト] Version: 5.0.5378

帳票定義 入力帳票 データー出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール カスタムメニュー カスタムメニュー システム管理

カスタムメニュー

i-Reporter

v5.0 カスタムメニューサンプル

メニューボタン設定1

[sample001]起票のみ

メニューボタン設定2

[sample002]バーコード読み込み

メニューボタン設定3

[sample003]QRコード+マスター期点検

メニューボタン設定4

[sample004]バーコード読み込み、マスター連携

メニューボタン設定5

[sample005]QR+マスター連携 梱包明細書

メニューボタン設定6

[sample006]iPhone用QRコード

ノーマルメニュー
CIMTOPS CORP.

ノーマルメニュー設定

▼設定

ノーマルメニューのカスタマイズ

カスタマイズなし 画像 テキスト

タイトル	CIMTOPS CORP.
文字サイズ	50
文字太さ	<input type="radio"/> 通常 <input checked="" type="radio"/> ボールド
文字色	LightBlue

① 「カスタムメニュー」メニューをクリック

② 「ノーマルメニュー」をクリックします。

③ 「編集」ボタンをクリック

ノーマルメニューの設定（続き）

ノーマルメニュー設定

▼設定

ノーマルメニューのカスタマイズ	<input type="radio"/> カスタマイズなし <input type="radio"/> 画像 <input checked="" type="radio"/> テキスト
タイトル	CIMTOPS CORP.
文字サイズ	50
文字太さ	<input type="radio"/> 通常 <input checked="" type="radio"/> ボールド
文字色	LightBlue

ノーマルメニューに表示する画像、テキストを設定します。

設定完了後、「登録」ボタンをクリックします。

